

DTS

Daiwa Technical Service

DAIWA TECHNICAL SERVICE COMPANY PROFILE

株式会社ダイワ技術サービス 会社案内



株式会社ダイワ技術サービス



私たちの暮らしの安心を 陰から支える

当社は測量会社として昭和60年に仙台市にて創業、現在ちょうど40年が経過しました。測量という仕事はただ地形を測って地図をつくるというイメージがあるかも知れませんが、しかし私たちが普段何気なく使っている道路や橋などの社会インフラは、緻密で正確な“地形図”をつくることから始まります。

よって測量はその“はじまり”の部分を担当、地形・地理空間情報の基盤をつくる非常に重みのある仕事であり、一つひとつの数字に正確性が求められ、ミスが許されない、まさにプロの仕事です。

それだけに、自分の仕事が地図に残り、形になって未来に残るといふ、大きなやりがいと誇りを感じる仕事でもあります。

現在の測量は、地理空間情報技術の高度化とともに三次元で見せる可視化技術が進んでおり、当社ではそれを活かして、従来の「労働集約型」から「知識集約型」「高付加価値ビジネス型」の仕事に進化させているところです。

その高度な技術の凄さ、面白さを感じながら、仕事を楽しめる充実した環境づくりを進め、豊かな感性を持った技術者を育てていくことが当社の信条です。

私たちの暮らしの安心を陰ながら支える存在としてあり続けたい、そんな私たちと一緒に“無限の可能性”にチャレンジしていく仲間として、皆さんの応募をお待ちしております。

代表取締役
前田 知彦



会社概要

CORPORATE PROFILE

- 会社名 株式会社ダイワ技術サービス
- 代表者 代表取締役 前田 知彦
- 創立年月日 昭和60年(1985年)12月24日
- 資本金 2,200万円
- 所在地
 - ・本社 宮城県仙台市宮城野区五輪1丁目8番3号
TEL:022-298-5183 FAX:022-296-3431
 - ・営業所 関西営業所 大阪市中央区農人橋1丁目1-7 谷町エクセルビル602号室
TEL:06-6944-2727 FAX:06-6944-2728
- 事業内容
 - ・建設コンサルタント
 - ・測量業
 - ・地質調査業



測量・三次元計測

WORK 01

テクノロジーと共に、もっとスマートに

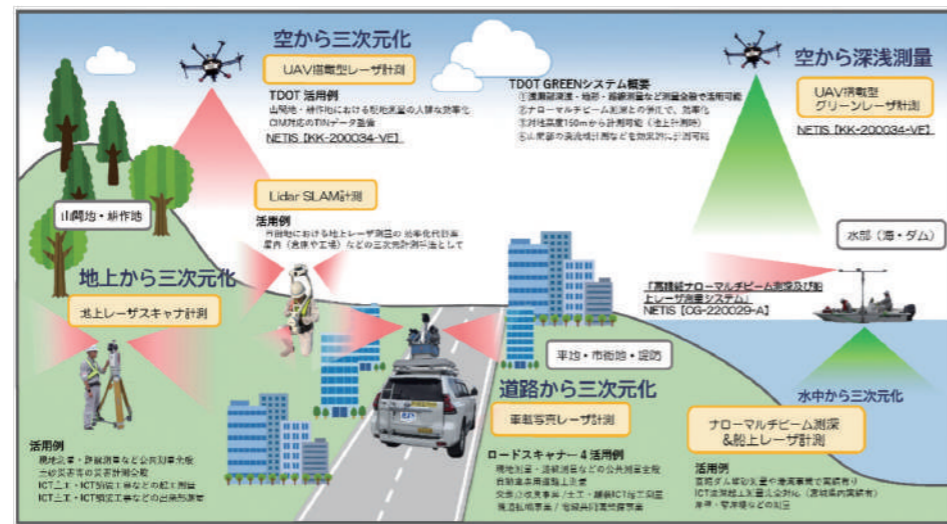
MMSやナローマルチビーム測深機・ドローンレーザ・3Dスキャナーなど保有する最新鋭の機器により、「陸・海・空」全ての領域において三次元技術サービスの提供を展開しています。今まで培ってきたモノを測る“職人の感性”と最先端技術の持つ“表現する力”の融合は、これからのモノづくりの重要な方向性です。これからもあらゆる現場課題の解決に役立つ存在として、社会インフラを支え続けます。

効率よく、安全に、スマートに働ける環境づくりへ進化中

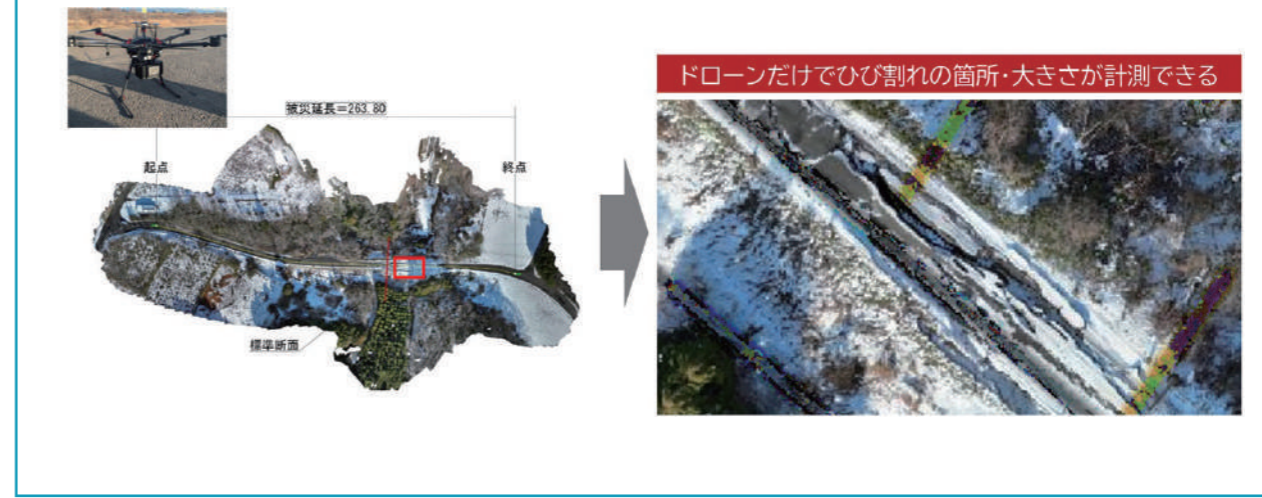
従来のような「体力頼り」の働き方から、体力や性別に関係なく、効率よく、安全に、スマートに働ける環境づくりを進めています。若手社員や女性技術者も無理なくスキルを身につけ、第一線で活躍しています。私たちが求めているのは、「新しい視点」と「学ぶ意欲」。文理不問で、未経験からでもスタートできるような研修制度も充実しています。

将来ある安定したキャリア形成

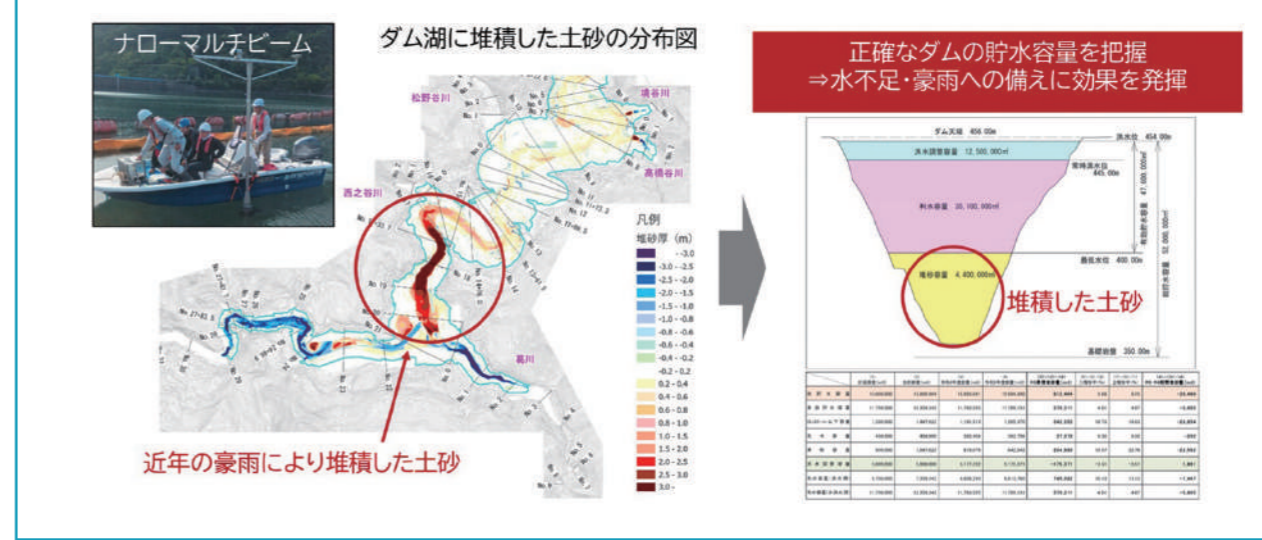
当社は東北における三次元計測技術のパイオニアとして、その技術においては、全国を見渡しても数少ない1社です。全国のあらゆる地域からも声がかかります。当社で学ぶ技術は、今まさに社会が必要としている先端技術そのものです。



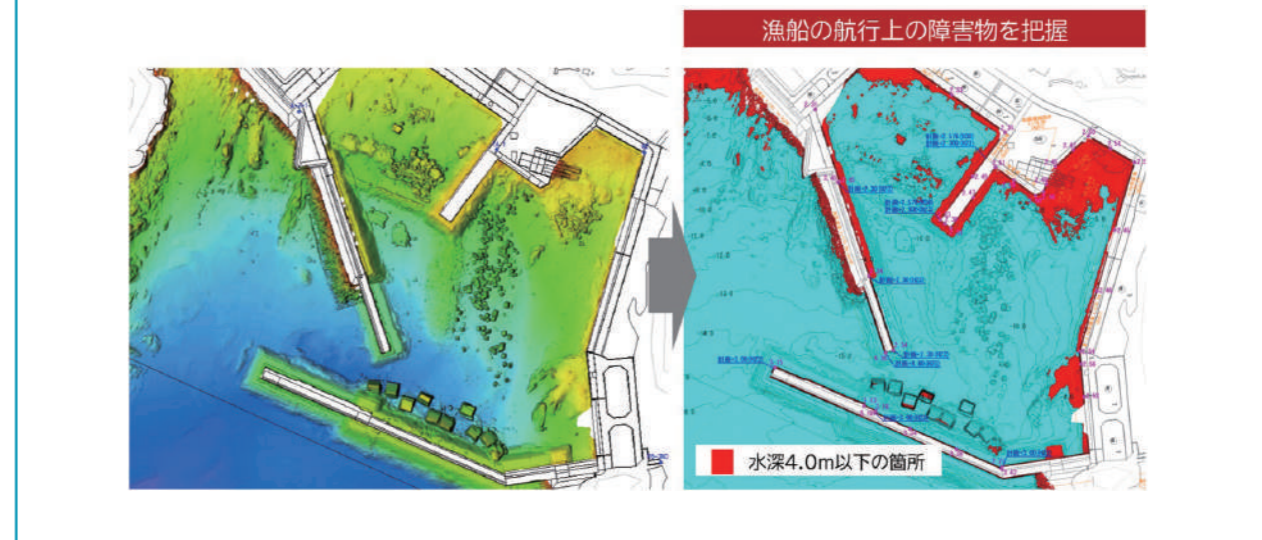
ドローンによるレーザー測量



ナローマルチビームによる測量



ナローマルチビームによる測量



調査

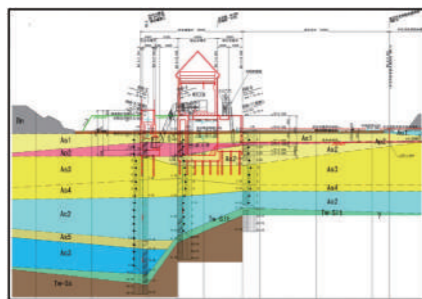
WORK 02

見えない地面下の「真実」を探る、地質調査のプロフェッショナル

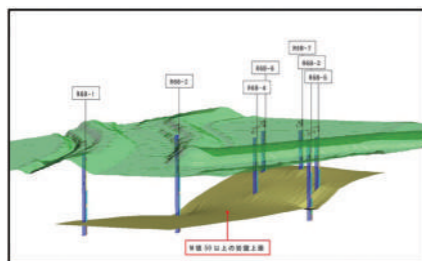
地質調査とは、建物や道路、トンネル、ダムなどをつくる前にその土地が安全かどうかを見極める大切な仕事です。地面の中には目に見えない情報がたくさん隠れています。「この地盤で建設しても大丈夫か?」「地震や豪雨にどれだけ強いか?」それらを調べるのが、私たちの役割です。派手ではありませんが、すべての社会インフラを支える、まさに“縁の下の力持ち”。社会に安心と安全を届ける、やりがいのある仕事です。社内には東北でも数少ない独自の試験室も保有しています。

女性も活躍中 知識と分析力を活かす“頭脳の仕事”

地質調査は「分析・評価」も重要な仕事。採取したデータをもとに、地盤の構造を読み解き、安全性を判断するという、高度な専門知識と論理的思考が求められます。この分野では女性技術者も多く活躍しており、体力よりも観察力や集中力、分析力を武器にプロとしてキャリアを築いています。



ボーリング調査に基づいた地質図



支持層の三次元モデル作成例

東北でも数少ない独自の試験室を保有

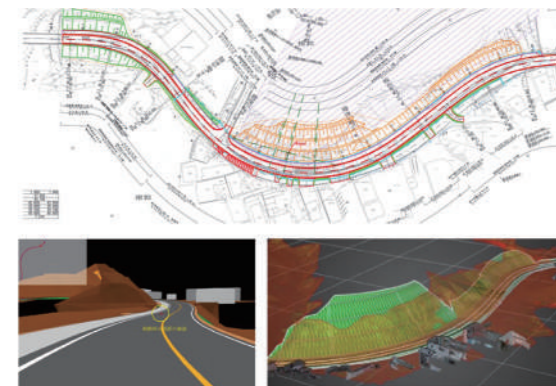


設計

WORK 03

三次元計測技術を設計に活かす“技”

当社が得意とする三次元計測による地形図を用いて、その上に道路設計技術者が三次元CADを使って道路を設計していきます。出来上がった3Dモデルは住民説明会などでわかりやすく伝えるツールとして活用することができ、官公庁からの評判も上々です。



走行シミュレーションにより視認性・安全性を確認

高度な技術によるインフラ点検

近年の技術向上の目覚ましいドローンを用いた点検技術。ドローンを用いることにより作業者の労力の削減や時間短縮が図れるばかりか、路上の交通規制も不要となり、交通への影響も避けることができます。撮影した画像からは、コンクリートのひびわれをその幅毎に分けて自動検出する技術にも取り組んでいます。これは従来から作業員が現場で行ってきたことを、AIを用いた技術が代行しています。



ドローンによる橋梁の点検 ドローン画像からAIによりひびわれを自動検出

災害支援

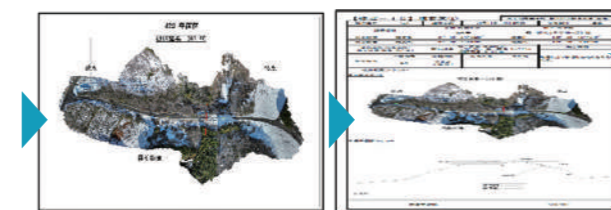
WORK 04

高度な技術で災害支援へ

近年多発・激甚化する自然災害。その規模は巨大化、広域化しています。高度な測量・三次元計測技術は、その災害の様子を迅速に把握することができます。2024能登半島地震、秋田山形豪雨災害などにおいては、この技術を用いて国交省TEC-FORCEに帯同し、被災状況調査を行いました。

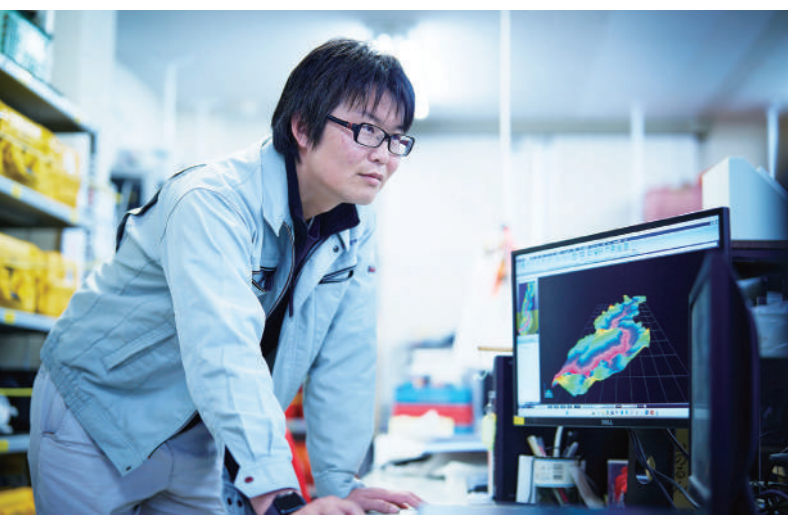


打ち合わせと作業割り当て 被災地現場作業 グリッドデータ(0.5m)



図面作成 報告書作成

被害額の算出まで行う



入社後のキャリア形成 CAREER DEVELOPMENT

仕事をしていく上で資格の取得は非常に重要な意味を持っています。
資格取得は技術者個人の技術力のエビデンスとなり、モチベーションの向上のほか、自分の自信にもつながるため、会社では経験年数に応じて取得を推奨していきます。

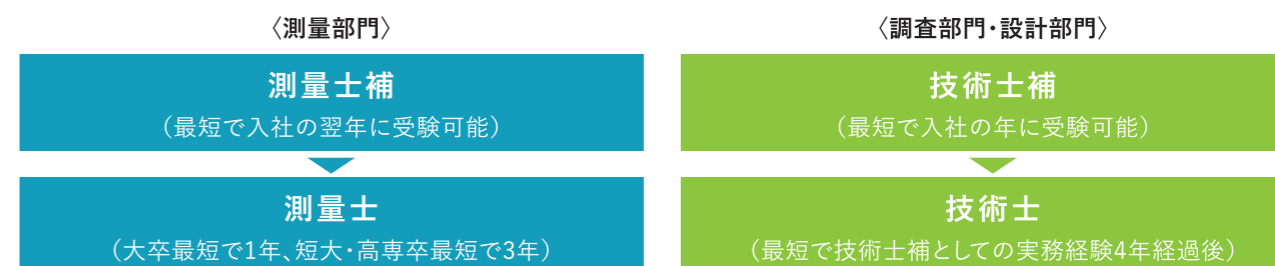
主な資格の資格者数 (令和7年4月時点)

〈有資格者〉

技術士	11名(技術士合計人数)	RCCM	8名(RCCM合計人数)
● 総合技術監理	2名	● 鋼構造及びコンクリート	1名
● 道路	2名	● 土質及び基礎	3名
● 土質及び基礎	3名	● 河川・砂防	1名
● 地質	1名	● 地質	2名
● 鋼構造及びコンクリート	2名	● 都市及び地方計画	1名
● 都市及び地方計画	1名	測量士	23名
技術士補	18名	測量士補	17名
		道路橋点検士	4名

入社後に挑戦できる資格

入社後は以下のような流れで取得するよう指導していきます。



資格取得の支援

会社では取得を勧める資格の取得に際して、以下のような支援を行います。

① 各資格共通

- ・2回目までは受験料を会社負担になります。
- ・受験合格後の登録料・その後の更新料も会社負担になります。
- ・中小企業事業(グリーン・パル)国家資格助成金利用可

② 測量士・測量士補に関して

- ・給付金制度を使って専門学校へ通い資格取得を目指す方法も会社にて準備します。
- ・受験対策について、会社にてマンツーマン指導します。

③ 技術士・技術士補に関して

- ・受験対策について、会社にてマンツーマン指導します。
- ・試験対策の外部講習会の受講を会社にて準備します。



社員紹介

INTERVIEW

すべての工事の源になる
測量の仕事に誇りを持って。

技術第一部

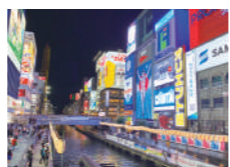
秋葉 太智 (2022年入社/山形県庄内町出身)

前職の施工会社で測量の仕事について知り、建設工事はすべて測量から始まり、社会貢献度が高い職業だと感銘を受けたのが入社きっかけになりました。大阪・関西万博の会場がある此花区夢洲に建設する公園の3次元測量に携わりましたが、実際に現地でたくさんの点群データを採取し、それをPCのモニターで見た時、大きな手ごたえを感じました。この会社では、資格取得に関する支援制度が充実しているので、20代のうちに測量士の資格取得を目指したいと思っています。

＼ DTSのココが好き！／

有給休暇の使いやすさ

入社してすぐ有給休暇10日が付与されます。月1回程度の割合で活用するよう勧められており、まとまった日数で休日を取れるので趣味のドライブを存分に満喫できるのがうれしいです。



思い出深い大阪旅行



綿密な資料作成を心がけ
常にベストな提案を。

技術第三部

遠藤 嘉之 (2018年入社/岩手県八幡平市出身)

自治体や企業などから委託を受けて、道路などの建設に関わる設計業務に携わっています。その際、問題の解決や現状の改善、コスト軽減といった多様な課題についても考慮しながら提案書を複数作成しており、決定案として採用されるよう緻密な配慮やプレゼンテーション力が求められる仕事だと思っています。入社して1年目は測量の部署に配属されたのですが、設計の仕事に魅力を感じて上司に相談したところ、グループ会社への出向が認められ、スキルと経験を身につけられたことが今につながっています。

＼ DTSのココが好き！／

メリハリのある業務環境

完全週休2日制を導入しているため、仕事とプライベートのメリハリをしっかりとつけてワーク・ライフ・バランスを保ちたい人にとっては、最適な業務環境だと感じています。



趣味のキャンプを満喫

親密なコミュニケーションが
工事を成功に導く重要素に。

技術第二部

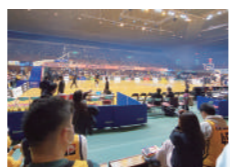
藤原 沙希 (2022年入社/宮城県仙台市出身)

高知県のダイビングショップに勤務していましたがコロナ禍で観光客が激減し、地元に戻って働きたいと考えていた時、この会社の採用募集を知りました。設計会社から依頼された地質調査の日程調整や現場管理などの業務を担当していますが、入社するまで未知の仕事でした。関係者との綿密なすり合わせが必要で大変な面もありますが、丁寧なコミュニケーションを図りながら仕事に取り組むスタイルにとても魅力を感じています。女性が少ない業界ですが、周囲のサポートもあり大いにやりがいを得ています。

＼ DTSのココが好き！／

スポーツ観戦チケットの支給

楽天イーグルスや仙台89ERSの観戦チケットをいただけるのがうれしいです。会社から支給されたチケットで初めて仙台89ERSの試合を観た時から、熱心なファンになってしまいました。



仙台89ERSの試合に熱中



職場の理解や助言を得ながら
取得しやすい育児休暇制度。

技術第一部

山内 優輝 (2015年入社/宮城県仙台市出身)

河川やダムにおける水中計測の業務を担当しています。2024年5月に息子が生まれ、出産日から1週間と7月の1カ月間、育児休暇を取得しました。誕生直後はコロナ禍で病院への立ち入りが難しく、なかなか妻や息子と触れ合う機会が得られませんでした。7月はすぐそばで寄り添うことができ、生涯で得難い時間を過ごすことができました。育休取得のため業務の調整が必要でしたが、上司との密な連絡・相談、取得経験のある先輩のアドバイスにより、制度を活用できてよかったと感じています。

＼ DTSのココが好き！／

充実の福利厚生メニュー

仙台市の中小企業労働者福祉推進事業(グリーン・パル事業)の福利厚生メニューが充実しており、いちご狩りの参加やお得な商品券など、さまざまな特典を得ることができます。



外出でござげんな息子さん

現場作業員の1日の流れ

8:30
出社・
現場へ移動

9:00
ミーティング・
作業開始

今日行う作業内容を確認
危険予知活動で事故を
防止する

12:00
昼休憩

13:00
作業開始

16:00
作業終了・
会社へ移動

16:30
成果作成

観測したデータをもとに、
計算書を作成する。
撮影した写真を整理し、
書類を作成する

17:30
退社